

日本がん分子標的治療学会 第7回トランスレーショナルリサーチワークショップ

テーマ「がん分子標的創薬とTR-産学の連携」

日時 2011年1月28日(金) 9:15~16:45

会場 都市センターホテル コスモスホールII 3F
東京都千代田区平河町2-4-1 TEL: 03-3265-8211

ワークショップ実行委員会:

委員長: 大和 隆志

委員: 上田 龍三/宮園 浩平/藤田 直也/
井上 謙吾/稲田 哲視

本ワークショップ参加は事前登録制(期間: 11月15日~翌年1月10日)です。
下記サイトよりお申し込み下さい。定員になり次第締め切ります。
参加費は、学会会員: 1,000円、非会員 3,000円です。当日会場でお支払い下さい。
<http://jamttc.umin.jp/tr/>

問い合わせ先: 日本がん分子標的治療学会 事務局
〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
(財) 癌研究会癌化学療法センター内
TEL: 03-3520-0111 (内線: 5417) FAX: 03-3570-0484

ワークショップ1: 「TRにおける産学連携の模索」

座長: 井上 謙吾/藤田 直也

1. TRにおける産学連携 塩津 行正 協発発酵キリン研究本部
2. 米国でのTRの経験から ~CBP/catenin阻害剤PRI-724の開発を例として 小路 弘行 PRISM BioLab株式会社
3. 製薬会社の立場から 青木 裕子 中外製薬株式会社研究本部
4. アカデミアの立場から -創薬開発を経験して- 前川 平 京都大学医学部附属病院

Educational Session: 「分子標的治療薬の最新情報トピックス」

座長: 西岡 安彦/宇津木 照洋

1. 新分子標的薬開発の最新動向 中川 和彦 近畿大学医学部
2. 分子標的薬に対する耐性機構とその克服 矢野 聖二 金沢大学がん研究所

ランチョンセミナー (エーザイ主催)

演題: 小動物 *in vivo* イメージング -translational researchへの応用を目指して-

演者: 藤井 博史 国立がん研究センター東病院

ワークショップ2: 「新しいがん分子標的と創薬への展開」

座長: 新津 洋司郎/磯江 敏幸

1. Hedgehogシグナル: 固形癌の臨床につながるTR 中村 雅史 九州大学大学院医学研究院
2. Notchシグナル阻害の臨床応用 千葉 滋 筑波大学人間総合科学
3. CCR抗体の臨床効果 石田 高司 名古屋市立大学医学研究科
4. グリオーマ幹細胞の分子標的としてのPI3KおよびMAPK経路 砂山 潤 山形大医学部
5. XIAPアンタゴニスト *in silico*設計による新規制がん剤リード化合物の創製 田沼 靖一 東京理科大学薬学部

シンポジウム: 「がん分子標的創薬-新たな取り組みと諸問題」

座長: 岩崎 甫/上仲 俊光

1. TGF-beta Signaling Pathwayとがん分子標的創薬 宮園 浩平 東京大学大学院医学系研究科
2. Induced Cancer Stem Cell によるがん病態モデルと創薬への応用 佐谷 秀行 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所
3. エピジェネティクスとがん分子標的創薬 近藤 豊 愛知県がんセンター研究所
4. Multiple Kinase Inhibitor開発の現状と問題点 小泉 史明 国立がんセンター研究所
5. 本邦での創薬から国際化への展開における問題点 稲田 哲視 Pharma-East Insight, Inc.
6. 革新的新薬の早期・探索的臨床試験の推進について 宮田 俊男 厚生労働省医政局研究開発振興課試験推進室